

ものづくりの原点がある④

鋳物には人を惹きつける 不思議がある”。

中居隼哉 (20歳)

② 入社のも機は？

就職の時期になって、「こんな会社があるぞ」と高校の先生に紹介されたのがきっかけでした。

それでとりあえず会社見学に行って、工場を見ました。そこで、溶けた鉄を鋳型に流し込む「注湯」を見て「これだ！」と。

すごい迫力で、正直ちょっと怖かった。

けど、思わず見とれてしまうところもあって。

怖いけれど、魅せられてしまう。惹かれてしまう。

そんな不思議な感じがあって、ここで働こうと決めました。

③ 今の仕事は？

溶けた鉄を流し込む「型」を作ること、その型に溶けた鉄を



流し込む注湯、この二つをやっています。

型づくりは共同作業で行います。先ず製品のアウトラインとなる主型と、その中にはめ込む製品の空洞部分となる中子をつくる。その後これらを組み立てて(型組立)鋳型をつくります。私は型組立を担当しています。重量のかかる吊り下げ作業には機械を使い、細かな作業は手作業で行います。主型・中子のチームと連携しながら、無駄なくスムーズに型をつくっていくのが課題です。

こうしてでき上がった鋳型に、溶けた鉄を流し込みます。ここで重要なのが、成分調整と温度。湯づくりの山崎さんと連携した作業になります。クレーンの操作技術、スピーディーな作業がポイント。製品の品質を決める重要な作業です。



④ 鋳造の仕事とは？

鋳造は、それぞれの段階の作業の質が、そのまま製品の質に現れます。当社が作っているような大きな製品では、なおさらです。

職人的な正確、丁寧、迅速な作業と、工場全体が連動して流れるように作業を進めるチームワークが求められる仕事です。

⑤ 会社のPRをお願いします

若野鋳造所の特徴は、多品種少量生産に特化していること。だから作る製品は多種多様。製品ごとに「これはこうしよう」と考えながら仕事するので、飽きることはありません(笑)

そして作っているものが大きいこと。完成した時の充実感、ハンパないです。